

# 創るプロジェクト

~自分創り 地域創り 未来創り~

DAY1 報告書

---

# 目次

---

## 1.概要

- 1-1 開催の背景、目的
- 1-2 開催の概要
- 1-3 当日のタイムスケジュール
- 1-4 今後の流れ

## 2.当日の様子

- 2-1 オープニング
- 2-2 自己紹介&アイスブレイク
- 2-3 ワークショップ① 「自分を知ろう」
- 2-4 ワークショップ② 「見つけよう」
- 2-5 発表
- 2-6 振返り

## 3.まとめ

### 資料

- ①マイウィルマイペインリスト
- ②アクションプラン
- ③振返りシート

---

# 1.概要

---

## 1-1 開催の背景、目的

---

背景：全国の高校生年代では、マイプロジェクトという探究学習が行われている。佐渡島内でも、各高校で実施されている。ただ、年々島内からは参加する人数が減っているのが現状である。(マイプロジェクトとは、「主体性」をもって、つくりたい未来に向けて「アクション」を行っていく、学びのプロセスです。そのプロセスを通して自分自身の興味関心の発見や、他者との協働、社会の価値発見・創造に向かう姿勢が育まれます。10代のうちに正解がない中で試行錯誤し、探究することで、不確かな時代の中でも未来への創造力が引き出されます。)そこで、中学校の段階から探究するプロセスを積んでおくことで高校へと進学した際により強い「主体性」を持ち、創りたい未来に向かって具体的な「アクション」を行えると期待してこの創るプロジェクトを企画した。

目的：

- ・3つの『創る』をベースに中学生の「やってみたい」を見つける。
- ・「やってみたい」の実現に向けたアクションプランを作成する。

## 1-2 開催の概要

---

日時：2月27日(日) 10:00～17:00 (12:00～13:00 昼休み)

会場：佐渡島開発総合センター3F

参加中学生

	参加理由
1	職場体験でこういう活動が楽しいと思ったから
2	学校の職業体験を通して、佐渡地域おこし協力の仕事について、興味を持ったから。 また、佐渡の活性化に向けて何かプロジェクトを立ててみたいと感じたから。
3	職業体験で興味を持ったから。
4	姉が中等プロジェクトを一生懸命やってるのを見て、僕は中等ではないからやれないなと思って いたけど、チラシをみて家族に後押しされたからです。
5	母に勧められたから
6	職業体験で興味をもったから

## 1-3 当日のタイムスケジュール

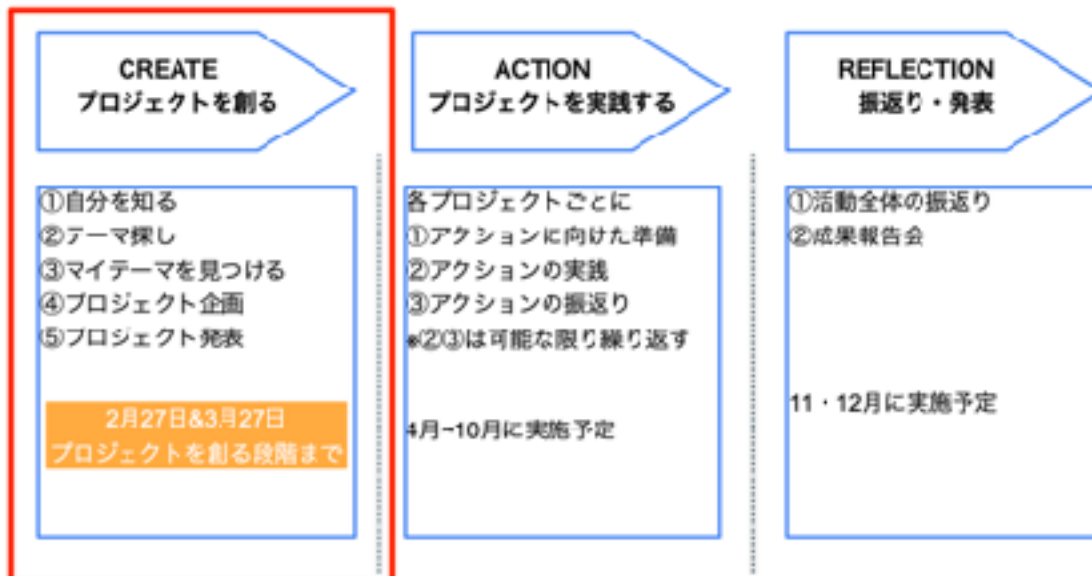
---

9:40~10:00	受付開始
10:00~10:30	オープニング
10:30~11:00	自己紹介&アイスブレイク
11:00~12:00	ワークショップ①「自分を知ろう」
12:00~13:00	お昼休憩※黙食 会場は両津公民館和室
13:00~13:20	PMオープニング&アイスブレイク
13:20~15:00	ワークショップ②「自分を見つけよう」
15:00~15:15	休憩
15:15~16:30	ワークショップ②'「見つけよう」 &発表
16:30~17:00	振り返り&クロージング

## 1-4 創るプロジェクトの今後の流れ


---

### 創るプロジェクト全体の流れ




## 2.当日の様子

### 2-1 オープニング

<ul style="list-style-type: none"><li>・中学生は受付後、地域おこし協力隊の隊員と会話をしながら名札を作成しながらオープニングまでの時間を過ごしていた。</li><li>・オープニングでは、創るプロジェクトの目的や概要を説明した。</li></ul>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・中等プロジェクトを実施されていた宮崎芳史さん(現新潟南高校教諭)と中等プロジェクト経験者の関口史佳さんがオンラインで参加してくださいました。中等プロジェクトの事例紹介や参加者へ応援メッセージを送ってくれた。</li></ul>			

### 2-2 自己紹介&アイスブレイク

<ul style="list-style-type: none"><li>・中学生、地域おこし協力隊、社会教育課、見学者の全員で車座になり自己紹介を行った。</li><li>①名前②所属③24時間以内にあった嬉しいことを順番に話していった。</li></ul>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・アイスブレイクでは、①かぶらずに座れ(1人ずつ誰ともタイミングが被らないように順番に座っていく)②十人十色ゲーム(代表者が選んだクイズを質問しながら答えていく)を行った。コミュニケーションを取りながら互いのことを知ることができた。</li></ul>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・アイスブレイク後は、地域おこし協力隊の江龍田、小森、棚村の3名による活動や想いを中学生に向けて発表していただいた。地域おこし協力隊の活動について知ること、学ぶこと時間となった。</li></ul>			


### 2-3 ワークショップ① 「自分を知ろう」

<p>・2つのグループに分かれて、「自分を知ろう」というテーマで中学生の興味関心のあること(マイウィル)や困っていること(マイペイン)をKJ法で書き出していった。(マイウィルマイペインリスト;資料欄①)</p> <p>・佐渡の中学生は、予想以上に悩みを抱えていることがわかった。「放課後の居場所がほしい」「共通の趣味を持つ人に出会えない」「バスの本数が少ない」など中学生の視点だからこそ出てくる事柄が多かった。また、地域おこし協力隊のメンバーも参加し興味関心や佐渡の課題を中学生と共有した。</p>	
	




## 2-4 ワークショップ② 「見つけよう」

<p>・ワークショップ②では、「見つけよう」をテーマにワークショップ①で書き出したことをベースに個人でアクションプラン(資料欄②)を考えていった。</p> <p>・地域おこし協力隊で「なぜ」「どうして」を聞きながらプランにしていっていった。</p> <p>・主なプラン  「放課後の居場所」  「ゲーム大会」  「自然の中で遊ぼう」  「スポーツができる場所を」  がでてきました。</p>	
---	--

## 2-5 発表

<p>・最後に1日を通して学んだことやアクションプラン(できたところまで)を1on1形式で10分間×4セットを地域おこし協力隊やオンラインの方に向けて発表を行いました。発表を通して、中学生はアドバイスをもらい新しい気づきを得ていた。</p>	
--	--

## 2-6 振り返り

<p>・振り返りはまずは全体で行った。オンラインの方とも行うためにMentimeterを使用した。「社会は人の想いで変わる」「他校にも地域おこししたい人がいる」「同級生や他の学年にもアイデアを聞きたい」などの意見が出てきた。</p>	
<p>・振り返りシートでは、個人で「うまくできたこと、気づいたこと」「うまくできなかったこと、次回に向けたその改善策」「感想」を記入した。</p>	
	

### 3. まとめ

全体を通して、和やかな雰囲気では進んだ。中学生は緊張気味でスタートしたが、アイスブレイクや地域おこし協力隊との会話を行うにつれて肩の力が抜けていった様子だった。オープニングで宮崎さん、関口さんによる中等プロジェクトの紹介や地域おこし協力隊による自己紹介(マイプロ)や活動報告があり「わたしたちでもできるんだ」と中学生たちは前向きになれたようだった。その後はワークショップへ積極的に参加していた。また、ワークショップ①②を通じて、中学生達が想像以上に悩みを抱えていることがわかった。悩みは自分自身のこともあれば、地域に関する事、佐渡全体に関する事と様々であった。中学生は、その中から興味関心の強いものをマイテーマとして選択してアクションプランを作成していった。発表は、宮崎さん、関口さんを含むオンライン組と現地にいる地域おこし協力隊と1on1形式で行った。発表後には、実際にアクションを起こすイメージがついていた中学生もいた。会が進んでいくに連れ「やってみていいんだ」という雰囲気に中学生の中で変化していったのは会場にいて感じる事ができた。振り返りでも、中学生からポジティブな言葉が出てきていた。地域おこし協力隊としても、中学生の生の声を聞くいい機会となった。地域で活動を起こしていく上でヒントを得る事ができた。今後は中学生のマイテーマに関する活動をされている地域の方と中学生を繋げることもできるようにサポートを続けていきたい。また、ファシリテーターとしても「どのような言葉

がけが必要か」「どんな質問をして考えを引き出そうか」といった課題が出てきた。地域に入っていく中でもファシリテート能力は重要な要素となるので学びが多かった。

第2回に向けて、中学生の背中を後押しすることや小さなアクションを起こせるようにサポートする体制を整えていく。

プロジェクト(PJ)	1日目を終えて
①放課後の居場所創りPJ	思ったことを伝えて実際に企画作りに持っていくことができ てよかった。企画に必要な経費も考える。 自分のアイデア・PJを形にしていきたいと感じた」。どうし て、何故をよく考える。佐渡には、たくさんの協力してくだ さる方がいることがわかった。
②自然子どもPJ	アイデアを出していくとどんどんつながるようアイデアが出 てきて面白かった。相手を納得させる理由や説得力を深める 言葉にして誰かに伝えることは夢を実現させるための第1歩だ と思った。との人の気持ちを考えてその人の立場ならこうし てほしいのかを考える。
③佐渡でスポーツできる場所を創るPJ	自分のやりたいことを口に出せて良かった。難しそうなこと でも頑張れば出来る。企画を実行するための手段を考えなが ら行動する。

## 資料

### ①マイウィルマイペインリスト

**マイウィルリスト・マイペインリスト ワークシート**

**これを書籍して取り組んでみよう！**

マイウィルリストとマイペインリストは自分のやりたいことや悩んでいることを自分の  
言葉で書き表わすことです。最初は中々言い出しにくいかもしれませんが、  
どんなことでもいいので書いてみよう！書いていくうちに自分のプロジェクトのタネ  
が芽生えてくるかも知れないよ！とにやが、たくさん、自分の感じていることを言葉に  
していきましょう。

**マイウィルリストとは？**

「My will」(マイウィル) 自分のやりたいことや実現したいことという意味です。  
それをとどかく、いっぱい書き出してみよう！そのやりたいことを実現してあげたいこと  
はどんなものでも大丈夫です。小さいことから大きなことをなんでもいっぱい書いてみよう  
！実現できたらいいけどできなくてもいい、大切に書き出しましょう。

例) ・カレーが食べたい。  
・釣りをもっとやりたい！  
・ガンダムに乗りたい。  
・佐渡を元気にしたい！  
・友達とお祭りややりたい。 などなど

**マイペインリストとは？**

「My pain」(マイペイン)自分が抱えている問題や悩んでいることです。その他にも  
周りの人の悩みなども書けます。これは小さなことから大きななんでも大丈夫！  
何が原因かわからない、身近な人が悩んでいること、自分の未来が不安な思いがあることや  
「嫌だな」「変だな」と思った現象を言葉にしていきましょう！

例) ・趣味を見つける場所がない  
・お金が足りない  
・カレーを食べたい場所がない  
・釣りをできない  
・海は綺麗なのにゴミが多い  
・子どもや学生が遊ぶ場所が少ない  
・ガンダムが壊れている  
・おばちゃんが見えない  
などなど

**My will list (マイウィルリスト)**

まずは、10個書いてみよう！1冊が終われば20個、30個書いていくと面白くなりますよ！

**My pain list (マイペインリスト)**

まずは、10個書いてみよう！1冊が終われば20個、30個書いていくと面白くなりますよ！

### ②アクションプラン



